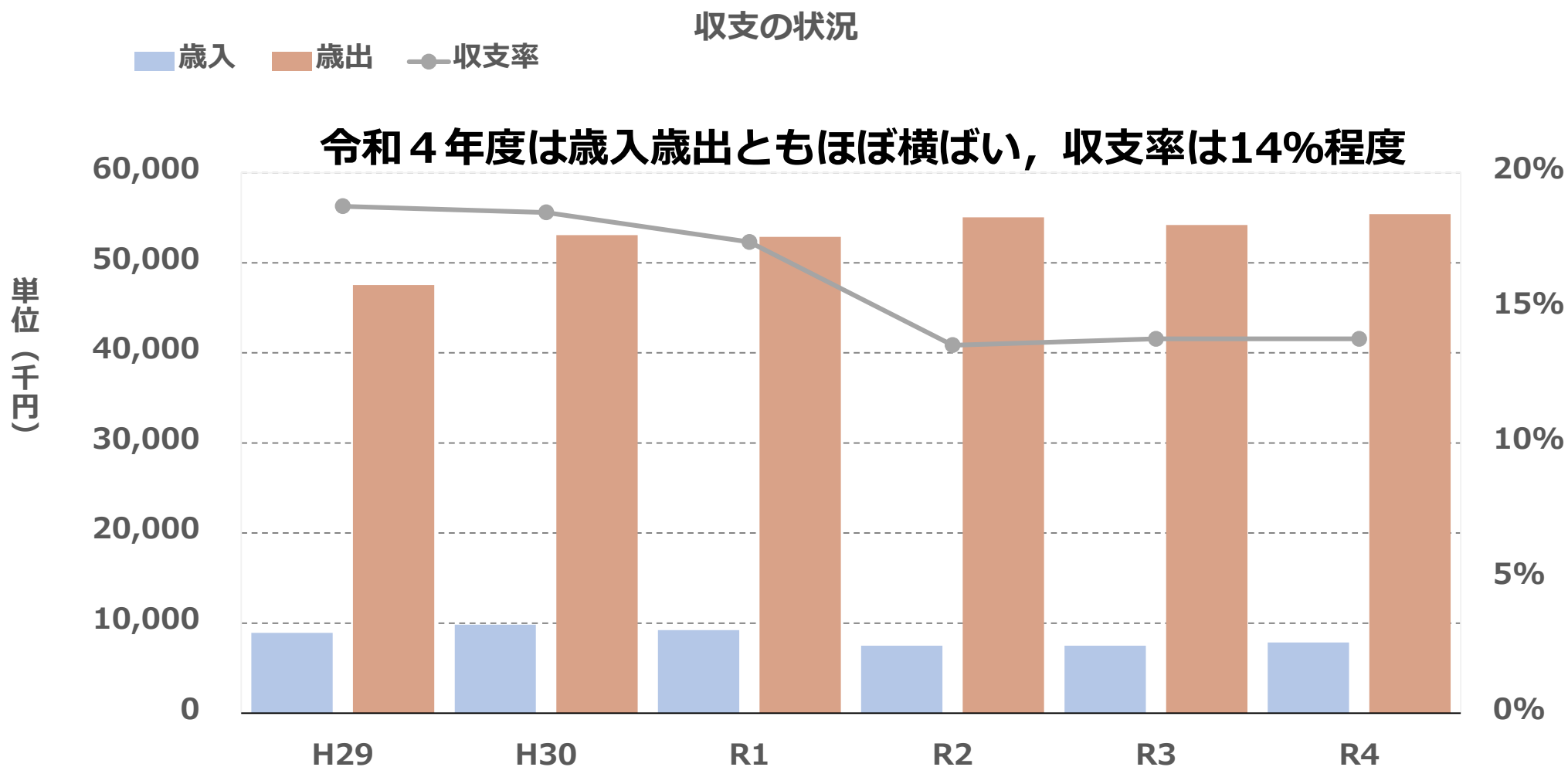


収支の状況



今後の検討課題

- ・47,500千円ほど赤字となっている。今後、高齢化（免許返納）が進むため、収支率が更に下がる可能性がある。

→受益者負担の適正化について検討が必要（利用料金）

- ・キャンセル数の増加、直前のキャンセル（利用1時間以内のキャンセルが3割）は振替対応が困難。

→キャンセルポリシーについて検討

- ・アナログ式の配車作業によるオペレーターの負担。時間帯によって予約や問い合わせが殺到するため、「電話が繋がらない」という苦情が多い。

→配車効率の向上（電話時間の短縮）やオペレーターの負担等を低減するため、A I 配車システムの導入を進める。

- ・利用者の半数以上が福祉的配慮が必要な方（高齢者、障がい者）であり、今後も増加が見込まれる。現状、オペレーターや運転手の柔軟な対応により、利用者に応じた対応をしている。増便やドライバー確保は容易ではない。

→他の移送サービスの現状を整理し、一人で乗合できない方の移動手段を振分けを検討する（福祉有償運送等）